

— 平成 2 1 年 度 —

東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合
一 般 会 計 、 特 別 会 計 歳 入 歳 出
決 算 審 査 意 見 書

東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合 監 査 委 員

東 広 監 第 1 号
平成 22 年 7 月 8 日

東濃西部広域行政事務組合
管理者 多治見市長 古 川 雅 典 様

東濃西部広域行政事務組合

監査委員

監査委員

平成 21 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 292 条において準用する同法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 21 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出します。

1 審査の期日 平成22年 6月29日

2 審査の対象

- (1) 平成21年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成21年度東濃西部視聴覚ライブラリー事業特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成21年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成21年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成21年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成21年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成21年度東濃西部広域行政事務組合各基金運用状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

平成21年度における当組合の6会計の決算総額は、歳入 531,396,216 円、歳出 525,148,157 円で歳入歳出差引額は、6,248,059 円で、主なものとして、一般会計で 1,957,026 円、看護学校特別会計で 3,022,499 円となっている。

主な歳入財源である各市負担金については、総合計が 406,086,676 円で、全体の 72.6% を占めており、圏域住民一人あたり 1,841 円の負担となっている。

(1) 一般会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

一般経費負担金として 28,337,000 円、情報システム統合事業負担金として 218,951,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位:円)

	多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
一般経費	11,665,000	7,780,000	8,892,000	28,337,000
情報システム統合	169,100,000	49,851,000	—	218,951,000
合計	180,765,000	57,631,000	8,892,000	247,288,000

第2款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として、10,399,930 円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として、1,803,653 円が収入となっている。

第5款 諸収入

雑入で嘱託職員の雇用保険個人負担分 19,050 円となっている。

◎ 歳出について

第1款 議会費

当年度組合議会は定例会2回が開催されている。支出済額126,820円のうち主な支出は議員報酬の117,000円であった。

第2款 総務費

総務費は予算現額247,955,000円に対し、支出済額が247,038,857円となっている。主な支出は一般管理費で職員等の人件費25,189,399円、多治見市と瑞浪市で進めてきた情報システム共同運用事業の情報システム管理費として、委託料127,927,800円、使用料及び賃借料120,481,200円となっている。

第3款 衛生費

衛生費は予算現額10,500,000円に対し、支出済額が10,387,930円となっている。主な支出は3市への畜犬登録事務交付金が5,876,539円、嘱託職員の人件費が2,704,940円である。

(2) 視聴覚ライブラリー事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として514,676円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
261,768	103,413	149,495	514,676

第2款 繰越金

前年度繰越金として290,702円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 教育費

歳出総額は805,378円となっており、主な支出は多治見市文化振興事業団への窓口業務委託料で735,000円となっている。

本年度のビデオ等利用状況は次のとおりである。前年度と比較して利用人員は、6,453人の減少となっている。

	21年度	20年度	比較
利用本数 (本)	2,155	2,065	90
貸出件数 (件)	1,201	1,159	42
利用人員 (人)	12,564	18,999	△6,453

(3) ふるさと活性化基金特別会計

◎ 歳入について

第3款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として、17,620,834円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として223,925円が収入となっている。

第5款 諸収入

広域自主研修助成金他で856,867円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は 15,200,984 円となっており、主な支出は、3 市への地域振興事業補助金 3,000,000 円、広域自主研修事業委託料として 1,615,600 円となっている。

平成 21 年度の補助対象事業及び補助金額は次のとおりである。

事業名	補助金額(千円)
多治見市(多治見市まちづくり活動補助事業の9対象事業に対して補助)	1,500
瑞浪市(夢づくり地域交付金事業の4対象事業に対して補助)	600
土岐市(第35回「健康を守る市民の集い」)	900

また、平成 21 年度広域自主研修の実施結果は次のとおりである。

研修内容	対象	受講者数
ビジネス文書作成研修	一般職員	24名
コーチング研修	一般職員	24名
技能労務職研修	一般職員	21名
政策法務研修	一般職員	22名
メンタルヘルス研修	一般職員	18名

(4) 東濃看護専門学校事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として 67,603,000 円、施設費負担金として 26,304,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

区分	運営費負担金	施設費負担金	計
多治見市	21,756,000	11,206,000	32,962,000
瑞浪市	8,467,000	4,274,000	12,741,000
土岐市	37,380,000	10,824,000	48,204,000
合計	67,603,000	26,304,000	93,907,000

第2款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は 26,691,000 円で、主な内訳は授業料 21,600,000 円、入学金 4,000,000 円、入学試験料 560,000 円となっている。

第3款 財産収入

看護専門学校財政調整基金の平成 20 年度末残高 21,400,427 円の運用利息として 60,000 円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として 1,000,000 円が収入となっている。

第5款 諸収入

諸収入は 9,513,234 円で主な内訳は、教材実習費 3,480,000 円、施設整備協力金 5,500,000 円となっている。

第6款 繰入金

財政調整基金繰入金として4,515,000円の収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は106,361,321円となっており、主な支出は職員等の人件費77,057,978円、非常勤講師等報酬6,063,180円、消耗品、光熱水費、修繕料などによる需用費5,742,737円、施設清掃、空調設備点検等の委託料5,138,364円、在宅看護実習室改修工事費4,515,000円、その他学校運営に係る費用となっている。

第2款 公債費

公債費として元金21,531,295円、利子4,771,119円を支出した。

公債費の支出及び平成21年度末未償還元金は次のとおりである。(単位：円)

区 分	支 出 内 訳		借入年月日	21年度末未償還元金
	元 金	利 子		
普 通 債	1,058,022	187,498	H5.5.7	3,464,922
〃	20,473,273	4,583,621	H6.5.6	91,186,446
計	21,531,295	4,771,119		94,651,368

(5) 少年センター事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として13,177,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多 治 見 市	瑞 浪 市	土 岐 市	合 計
6,972,000	2,456,000	3,749,000	13,177,000

第3款 繰越金

前年度繰越金として、747,297円が収入となっている。

第4款 諸収入

嘱託職員雇用保険の自己負担分として9,504円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 教育費

歳出総額は13,140,399円で、主な支出は職員等の人件費8,272,537円、指導員巡回旅費2,019,920円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

	平成21年度	平成20年度	比 較
指導回数 (回)	587	628	△41
指導員延人員 (人)	2,003	2,043	△40
指導件数 (件)	90	100	△10
電話相談 (件)	125	83	42
面接相談 (件)	4	8	△4
メール相談 (件)	85	44	41

(6) 東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として 51,200,000 円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	中津川市	恵那市	合計
3,080,000	10,280,000	15,080,000	15,080,000	7,680,000	51,200,000

第3款 繰入金

基金繰入金として 51,389,108 円の収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は 102,758,544 円で、主な支出は平成 20 年度 10 名分の貸付金 39,000,000 円、平成 21 年度 5 名分の貸付金 15,000,000 円、東濃地域医師確保奨学基金積立金 51,363,800 円となっている。

(7) 各基金運用状況

① 東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

平成 20 年度末現在高は 21,400,427 円で、これに対する決算年度中の基金運用収入 60,000 円を積立て、平成 20 年度決算剰余金のうち 2,835,490 円を基金に繰入れ、在宅看護実習室改修工事費用 4,515,000 円を取り崩し、平成 21 年度末基金残高は 19,780,917 円となっている。

② ふるさと活性化基金

本基金は東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたものである。

平成 21 年度の運用収入は 17,620,834 円となっており、各種事業に充当されている。債権買い換えに伴う有価証券残高減による 9,317,000 円と、今後の支払いに備えるため、9,312,000 円の 18,629,000 円を積み立て、年度末残高は 1,011,229,000 円となっている。

③ 東濃地域医師確保奨学基金

本基金は東濃地域医師確保奨学資金等の貸付のための経費に充てるために、設置されたものである。

各市からの負担金及び県振興補助金を積み立て、平成 21 年度貸付額及び事務費を取り崩し、平成 21 年度末基金残高は、60,974,692 円となっている。

5 指摘事項

特に是正すべき指摘事項はないが、要望事項としては次のとおりであるので、今後この要望事項に留意され事務に取り組まれない。

①視聴覚ライブラリー

平成21年度で事業終了。事業を終了するというのも大変なことであり、英断だと思う。高く評価したい。

②看護専門学校

向上心のある学生が退学してしまうのは残念である。前年度と比較して平成21年度の退学者数が減少しているのは、平成20年度から臨床心理士を配置するなど看護学校の取り組みの成果と思われるので、評価できる。学生の相談体制について、個人情報等の取扱い等、きちんとルール化をして継続していただきたい。地域医療の向上には看護師の確保は重要であるため、学生の募集、実習先や就職先の確保等、今後も恵那市、中津川市と連携していく努力を継続していただきたい。

③少年センター

少年センターで専門の相談員を雇用するというのは経費的にも無理だと承知しているので、センターで対応しかねる案件については、関連機関にすみやかに取り次げるようなシステム作りをして欲しい。相談者からメッセージを受け取ったら、すぐに適切な機関に連絡し、手を差し伸べられるようなネットワーク作りをしていただきたい。

PRグッズは青少年を対象に配布するのであれば、キャッチフレーズは『一人で悩んでいませんか?』のみでもよいのではないか。

④医師確保奨学資金等貸付事業

本奨学資金が学費のみならず生活費に充ててもよいということを考慮しても、授業料が安い国立大学の学生が、私立大学の学生と同額では、市民目線から見て支給しすぎではないか。国立大学の学生の分を減らし、その分を私立大学の学生に上乘せすれば、制度として『実質的に公平』になるのではないか。また、貸付金の多寡と償還免除のための勤務期間は必ずしも比例しないのではないか。奨学資金の額については、引き続き検討いただきたい。

⑤ふるさと活性化基金

単独市で行う事業について、広域組合で補助対象から外す検討をしているとのこと。広域組合のあり方と照らし合わせながら、真摯に取り組んでほしい。3市が連携した事業を選定するというのは難しいと承知しているが、広域観光の活性化等、基金果実が活かせる使い道を考えて欲しい。